

総務常任委員会報告書

平成 31 年 1 月 11 日

委員長 岩井 秀一

総務常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けた事項について、調査結果の概要を報告します。調査に際し、10 月 24 日に総務部長及び関係各課に出席を求め、委員会を開催致しました。

【総務課】総務係より、文化の日記念式典について、危機管理係より、清掃工場トラブル、校区防災訓練、古賀市消防団出初め式について、政策法務係より、行政不服審査請求について、【コミュニティ推進課】コミュニティ推進係より、花いっぱい運動事業補助、防犯灯設置補助、行政区長・隣組長制度のあり方等について、男女共同参画係より、女性起業カフェフォローアップセミナー等について、市民活動支援センター係より、講座及び市民活動支援センターの運営について、【経営企画課】広報秘書係より、市公式ホームページ、バナー等広告、無料法律相談等について、経営企画係より、西鉄バス運行実績、公共施設等連絡バス運行実績、70 歳おでかけバス事業実績、地域移動サポート補助事業実績、福岡工業大学との連携による研究事業について、【人事課】行政管理係より、職員採用試験、指定管理者の選定について、職員係より EAP、特別職報酬等審議会、古賀市ハラスメントの防止等に関する規程について、【管財課】契約係より、7 月～9 月の入札結果について、管財係より、公共施設等総合管理計画について、【財政課】財政係より、平成 31 年度予算編成方針、個別補助金の審査について等の報告があり、すべての課において活発な質疑が交わされました。

主な質疑としては、【総務課】では、防災訓練での要支援者への対応、自主防災組織との連携など。【コミュニティ推進課】では、行政区長・隣組長制度のあり方について区長会での経緯、大きな制度変更であり全議員への周知の必要性、市長の政策的案件なのか等の質問に対し、平成 29 年 8 月以降、区長会において協議を進めてきており、原課からのボトムアップで案を作成した。議会への説明の要望があれば応えたいとのこと。他、地域防災訓練への原課のかかわり、出前講座の内容、起業支援のあり方など。【経営企画課】では、市民相談の解決方法、大学とのモビリティ・マネジメント研究事業の詳細、おでかけタクシーの利用状況、70 歳おでかけバス事業の登録方法、シェアサイクル事業の利用状況など。公共施設等連絡バスの利用状況調査及び今後についての問いに、バス停ごとの乗降客数は把握している。9 月は利用目的を調査し、その後分析するとのこと。市として独自の運行計画を作り、それに基づいて西鉄バスと交渉をするということではできないのかとの問いに、コガバスと重複する 7 番系統の振りかえについて、西鉄と交渉をした。運行主体が西鉄である以上、難しい面もあるが、鋭意努力はしていくとのこと。【人事課】では、専門職職員の定数、長期休暇・休業中の職員、市役所における障害者雇用率など。指定管理者選定において、千鳥苑としゃんしゃんの利用者の年齢や要件、所管の違い等から、個別に選定してはどうかとの問いに、事業別予算により運営しながらも、同一敷地内であり、一体的な運営が望ましいとのこと。【管財課】では、入札不調・入札中止の原因、その後の随意契約への流れなど。施設の老朽化が進んでいるが、個別計画策定の予定はとの問いに、31 年度に素案作成、32 年度でまとめるとのこと。【財政課】では、枠配分予算の再開、プライマリーバランス、経常収支比率悪化への対応、自主財源確保、企業誘致と土地利用、予算査定スケジュールなど。個別補助金審査について、審査時間が短いのでは、当該団体から説明を受けるべきではとの問いに、審査委員会に諮りたいとのこと。

以上、閉会中所管事務調査結果の概要報告を終わります。